

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	教室・実習室
担 当 教 員	日下部 麻美 坂本 典子 谷岡 智子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
様々な状況・疾患をもつ子どもとその家族について理解した上で、療養生活から生じる問題や必要な看護について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 80% レポート課題 20% ※詳細は第1回授業で提示します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院(臨床総論) ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院						
《授業外における学習方法》						
学習範囲が広いので、教科書を中心にしっかりと予習し、授業後は資料の整理をするなど、復習をしましょう。 事前課題がある場合はしっかりと予習を行い授業・演習に取り組みましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
学習範囲が多岐にわたっていますので、しっかりと予習・復習をしましょう。技術演習もあります。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	子どもの状況に特徴づけられる看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第6 章を読む(30分) 事後学習:授業の復習、 課題をまとめる(30~60 分)	
		各コマに おける 授業予定	課題の提示 子どもの状況に特徴づけられる看護:入院・外来、在宅、災害 時			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	検査・処置を受ける子どもの体験について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第6 章を読む(30分) 事後学習:授業の復習、 課題をまとめる(30~60 分)	
		各コマに おける 授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護: 子どもにとっての体験、安全・安楽、抑制、与薬、輸液管理			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	検体検査を受ける子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:演習項目の 手順を確認する(30分) 事後学習:授業の復習、 課題をまとめる(30~60 分)	
		各コマに おける 授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護: 検体検査(採血、採尿、骨髄穿刺、腰椎穿刺)呼吸症状の緩和、 救命処置			
第4回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	検査・処置を受ける子どもの看護技術を実施することで留意事項を述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:演習項目の 手順を確認する(30分) 事後学習:授業の復習、 課題をまとめる(30~60 分)	
		各コマに おける 授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護: 技術演習① 抑制・輸液管理(採血)・採尿・救急処置			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	検査・処置を受ける子どもの看護技術を実施することで留意事項を述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第3 章を読む(30分) 事後学習:授業の復習 (30分)	
		各コマに おける 授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護: 技術演習② 抑制・輸液管理(採血)・採尿・救急処置			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性期の子どもの経過と看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもにおける疾病の経過と看護① 慢性期の子どもの看護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期の子どもの経過と看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもにおける疾病の経過と看護② 急性期の子どもの看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	周手術期の子どもの経過と看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもにおける疾病の経過と看護: 周手術期の子どもの看護		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期の子どもの経過と看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第5章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもにおける疾病の経過と看護: 終末期の子どもの看護		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	発熱、脱水などの症状を示す子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第5章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	症状を示す子どもの看護: 発熱、脱水、下痢・嘔吐		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸困難、けいれんなどの症状を示す子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第7・8章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	症状を示す子どもの看護: 呼吸困難、けいれん		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害のある子どもの看護と子どもの虐待について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論第1・2章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	障害のある子どもと家族の看護: 障害のとらえ方、子どもと家族への支援 子どもの虐待と看護		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	先天異常のある子どもと新生児の看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論第2章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護: 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	新生児の看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論第3・4章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護: 新生児の看護		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	代謝性・内分泌疾患の子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論第5章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護: 代謝性・内分泌疾患と看護		